

第 24 回大学教育研究フォーラム

- ◆日程 2018年3月20日(火)～21日(水)
- ◆会場 京都大学吉田キャンパス
- 【個人研究口頭発表・参加者企画セッション】吉田南総合館北棟(吉田南構内)
 - 【個人研究ポスター発表】百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール(本部構内)
 - 【特別講演】百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール
 - 【学術セミナー】吉田南総合館北棟
 - 【MOST フェロー発表会・シンポジウム】百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール
 - 【情報交換会】百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール

3月20日(火)

- 受付 8:15～12:30 【吉田南総合館北棟 共北 12】
12:30～14:30 【百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール】
- 個人研究口頭発表 9:00～10:50 【吉田南総合館北棟】
- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 9:00～9:20 個人発表① | *1人あたりの時間20分
(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代) |
| 9:20～9:40 個人発表② | |
| 9:40～10:00 個人発表③ | |
| 10:00～10:20 個人発表④ | |
- 10:20～10:50 討論
- 個人研究ポスター発表 9:30～14:00 【百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール】
*在席責任時間9:30～10:30
- 特別講演 11:20～12:20 【百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール】
竹内 洋(関西大学東京センター長・京都大学名誉教授・
関西大学名誉教授)
- 学術セミナー 11:20～12:20 【吉田南総合館北棟】
緒方広明(京都大学学術情報メディアセンター教授)
杉原保史(京都大学学生総合支援センター長)
- MOST フェロー発表会 13:30～14:30 【百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール】
- シンポジウム 14:45～17:45 【百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール】
松原 仁(公立ほこだて未来大学副理事長兼教授)
河野哲也(立教大学文学部教授)
北野正雄(京都大学理事・副学長)
- 情報交換会 18:00～20:00 【百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール】

3月21日(水)

- 受付 9:00～13:30 【吉田南総合館北棟 共北12】

- 個人研究口頭発表 10:00～11:50 【吉田南総合館北棟】
 - 10:00～10:20 個人発表①
 - 10:20～10:40 個人発表②
 - 10:40～11:00 個人発表③
 - 11:00～11:20 個人発表④
 - 11:20～11:50 討論

- MOST デモ 10:00～13:00 【吉田南総合館北棟 共北 36】

- 参加者企画セッション 13:20～15:50 【吉田南総合館北棟】

*1人あたりの時間20分
(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

個人研究発表、参加者企画セッションは、発表者・企画者の良識に基づいた学会形式のプログラムです。センターは申込の条件や形式のみを審査し、内容についての審査をおこなっておりません。あらかじめご了解の上、各人の判断でご参加ください。

休憩室について

3月20日(火) 9:30～14:00
百周年時計台記念館2F 国際交流ホールII

3月21日(水) 9:00～14:30
吉田南総合館北棟共北32

休憩や議論の場として自由にご利用ください。

3月20日(1日目)

個人研究口頭発表

9:00~10:50

吉田南総合館北棟

●<部会1>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：保崎則雄・・【会場：吉田南総合館北棟 共北26】

「やり抜く力」グリットを育成するためのアクティブラーニングの活用と実践

中西 徹 (就実大学)

振り返りシートを分析し、教材化し、行動変容を目指したアクティブラーニングの実践報告

—PDCA×3×テキストマイニング—

彌島康朗 (敬愛大学)

能動的学習を促す取り組みと教員が感じた学生の変化についての研究

高平小百合 (玉川大学) ・ 小島佐恵子 (玉川大学) ・ 大谷千恵 (玉川大学)

小原一仁 (玉川大学) ・ 黒田 潔 (玉川大学) ・ 村山にな (玉川大学)

伊藤良二 (玉川大学) ・ 三村真紀子 (玉川大学) ・ 片野 徹 (玉川大学)

山崎千鶴 (玉川大学)

「対話」重視のリフレクション活動が制作・表現型授業における学びに与える影響の分析

—授業TAが参与観察したリフレクションより—

藤城晴佳 (早稲田大学) ・ 保崎則雄 (早稲田大学)

●<部会2>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：関口幸代・・【会場：吉田南総合館北棟 共北27】

学生必携スマートフォンを活用したグループ活動によるアクティブラーニングの試行

—コンピュータ系授業実践—

亀田真澄 (山陽小野田市立山口東京理科大学) ・ 宇田川 暢 (山口県立大学)

自律的学習への転換を図る教授法の検討—ドイツ語授業での試みを通して—

山田容子 (新潟大学) ・ 津田純子 (新潟大学)

経済学部数学科目におけるグループ学習を用いた反転授業の従来型講義との結果比較

佐藤 崇 (東洋大学)

グローバル人材育成のための高次能力学習型反転授業設計

—学内教学改革プロジェクト成果と課題—

関口幸代 (明治学院大学)

●<部会3>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：山田直子・・【会場：吉田南総合館北棟 共北3A】

新学習指導要領と地域連携教育に関する実践研究—SDGs・ESD—

長岡素彦 (一般社団法人地域連携プラットフォーム)

地域実習におけるフィールドスタディの意義

—実習生のリフレクションを促すグループインタビューの質的データ分析—

大木えりか (北九州市立大学)

地域課題をテーマとするPBLの全学的推進—徳山大学「地域ゼミ」の成果と課題—

寺田篤史 (徳山大学) ・ 庄司一也 (徳山大学) ・ 石川英樹 (徳山大学) ・ 岡野啓介 (徳山大学)

地域社会を学びの空間とした多文化間共修—日本人学生の情動の変容と気づき—

山田直子 (佐賀大学)

●<部会4>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：成瀬尚志・・【会場：吉田南総合館北棟 共北33】

初年次教育で文章表現教育をする意味—3つの学力の視点から—

西川真理子 (流通科学大学) ・ 藤田里実 (流通科学大学) ・ 山下 香 (流通科学大学)

石黒 太 (流通科学大学)

レポート課題執筆における資料パラフレーズの効果

福田 健 (清泉女子大学)

「レポートの書き方講習会」における受講生のニーズに対応した演習問題の設計

桐山 聰 (鳥取大学) ・ 矢部玲子 (北海道文教大学) ・ 山田裕果 (鳥取大学)
宮崎知子 (鳥取大学) ・ 尾崎文代 (鳥取大学)

レポート論題研究からみるライティング教育の課題

成瀬尚志 (長崎大学) ・ 児島功和 (山梨学院大学) ・ 崎山直樹 (千葉大学)

●<部会 5> 座長：見館好隆 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 34】

低学年次を対象とした効果的なインターンシップ・プログラム設計のための一考察

—受入企業・学生への質問紙調査の分析から—

高澤陽二郎 (新潟大学) ・ 小浦方 格 (新潟大学) ・ 野中 敏 (新潟大学)

多人数型キャリア教育授業の効果検証

松坂暢浩 (山形大学) ・ 山本美奈子 (山形大学) ・ 小倉泰憲 (山形大学)
栗野武文 (東北芸術工科大学)

対象学年の違い等によるインターンシップの期待する実習成果について

西條秀俊 (新潟大学) ・ 浜島幸司 (同志社大学)

高等学校インターンシップがキャリア形成や学び・職業選択などにもたらす効果とその規定要因

見館好隆 (北九州市立大学)

●<部会 6> 座長：谷 美奈 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 35】

学生によるプレゼンテーションを中心にした人間学の試み

堀井泰明 (天使大学)

看護学生の人間観の深まり—当事者参加型授業の試み—

毛利聖子 (宮崎県立看護大学)

コンセプトマップの外化が看護学生の学びに及ぼす影響

大串晃弘 (宝塚大学) ・ 山住哲也 (大阪暁光高等学校)

自己教育 (auto-formation) としてのパーソナル・ライティング

—学問的ニヒリズムから人間科学を支える学びへ—

谷 美奈 (帝塚山大学)

●<部会 7> 座長：浜島幸司 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 28】

学習支援者の力量形成としての協働省察

—大学生日本語ボランティア・ボランティア支援者の実践と省察の「場」—

佐野香織 (早稲田大学)

深い学びを促進する学習空間づくりの実態とその課題

池ヶ谷浩二郎 (創価大学) ・ 田中 徹 (コクヨマーケティング株式会社)

教職員連携による基礎ゼミ運営—その成果と今後の課題—

佐山 仁 (産業能率大学)

学習支援補助者育成の成果と課題—同志社大学ラーニング・アシスタントを事例として—

浜島幸司 (同志社大学) ・ 岡部晋典 (同志社大学) ・ 鈴木夕佳 (同志社大学)
中村伸也 (同志社大学) ・ 野田宣彦 (同志社大学) ・ 三宅重彰 (同志社大学)
大島佳代子 (同志社大学)

●<部会 8> 座長：吉野 文 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3B】
留学経験者の語りから見える学びのプロセス

山川健一（安田女子大学）

スチューデント・アシスタントの役割の明確化の重要性

—語学授業における効果的な SA 活用に向けて—

藤原由紀子（関西学院大学）・阿部美恵子（関西学院大学）

学生の考える力を活性化させるリアクションペーパーのテーマ設定

—留学生への日本語学習支援からの提案—

三宅若菜（桜美林大学）・福島智子（桜美林大学）

短期留学生が参加する協働学習の意義—「日本」を題材とした学び—

吉野 文（千葉大学）

●<部会 9> 座長：西岡加名恵 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 32】
国外サービスマーケティングにおける学修効果測定とその考察

安達まり子（京都大学）・木邨洗一（京都大学）・山内章代（京都大学）

官学協働の地域防災人材育成プログラムにおける育成人材設定と評価について

小山真紀（岐阜大学）・高木朗義（岐阜大学）・能島暢呂（岐阜大学）

村岡治道（岐阜大学）

「課題解決型」地域活動におけるもうひとつの課題

—学生からみた「チーム活動」としての課題解決型学修—

石川敬之（北九州市立大学）

京都大学 COCOLO 域における「学校論ゼミナール」の試み

—サービス・ラーニングの意義と課題—

西岡加名恵（京都大学）・次橋秀樹（京都大学）

●<部会 10> 座長：坂田信裕 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3C】
大学の情報セキュリティと規程—学内データ活用に関するセキュリティの現状と課題—

朴 炫貞（成城大学）

ブロックチェーン（分散型台帳技術）を活用した次世代教育環境の可能性に関する考察

法雲俊栄（大阪商業大学）

VR を使用した技能教育における生体情報の活用

芳賀 瑛（法政大学）・遠藤信二（法政大学）・柴田東作（法政大学）

新井和吉（法政大学）・常盤祐司（法政大学）

コミュニケーションロボットをきっかけとして学ぶテクノロジーと社会変革

坂田信裕（獨協医科大学）・坂本洋子（獨協医科大学）

●<部会 11> 座長：松尾美香 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 37】
「大学入学共通テスト」の英語試験

—共通テストと個別試験の棲み分け—外国語試験・都立高校入試・中学英語週 3 時間

菅野憲司（千葉大学）

高大連携プログラム「課題研究」のルーブリック評価による高度化

中村裕行（愛媛大学）・深田昭三（愛媛大学）・井上敏憲（愛媛大学）

上床孝樹（愛媛大学附属高等学校）・三好徹明（愛媛大学附属高等学校）

お茶の水女子大学における高大連携教育を経験した学生の入学後の変容

田村恵美（お茶の水女子大学）

プロジェクト・アドベンチャーを活用した新入生オリエンテーションの効果測定

松尾美香（岡山理科大学）・望月雅光（創価大学）・松下尚史（岡山理科大学）

●<部会 12>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：村上裕美・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 3D】

「受講後」を意識して教える—文学テキストを使用した英語の授業について—

高瀬祐子（静岡大学）・小町将之（静岡大学）・小早川真由美（文部科学省）

数理系科目の授業における学修力深化の促進と授業効果の評価

谷口進一（金沢工業大学）・中村 晃（金沢工業大学）・山岡英孝（金沢工業大学）

木村竜也（金沢工業大学）

効果的な意思決定ルール内容と付与方法の提案—国語教育の言語感覚指導に基づいて—

矢部玲子（北海道文教大学）・桐山 聡（鳥取大学）

大学における英語科の英語の学びへの挑戦—ESPの視点から—

村上裕美（関西外国語大学）

●<部会 13>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：宇田 光・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 38】

文献調査報告書作成トレーニングコースの提案

金川久美子（九州大学）・中藤哲也（九州大学）・廣川佐千男（九州大学）

学生の「意欲別」クラス導入—そのプロセスと効果について—

緒方義人（明海大学）・宇田川素子（明海大学）・大黒章子（明海大学）

薬学部における実験実習の教育改善効果とその要因

高尾郁子（京都薬科大学）・木村 徹（京都薬科大学）・河野享子（京都薬科大学）

平山恵津子（京都薬科大学）・千原佳子（京都薬科大学）・大谷有佳（京都薬科大学）

徳山友紀（京都薬科大学）・高田哲也（京都薬科大学）・北出達也（京都薬科大学）

350人ですすめる心理学講義

宇田 光（南山大学）

3月20日(1日目)

個人研究ポスター発表 9:30~14:00 在席責任時間 9:30-10:30 百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール

1. 正課授業と正課外活動を連携したアクティブラーニング型授業
— 一般教育科目『環境研究』学びからアクションへ—
布柴達男 (国際基督教大学)
2. 遠隔授業とアクティブ・ラーニング—キャンパス連携型の授業に関する研究と試行—
川村幸夫 (東京理科大学) ・ 今村 武 (東京理科大学)
3. 正課内教育から正課外活動への読書推進活動の展開—教員主導から学生主体へ—
橋本信子 (流通科学大学) ・ 桑原桃音 (流通科学大学)
4. 学生の自己調整学習を高めるプラットフォームの構築
大浦弘樹 (東京工業大学) ・ 大石哲也 (東京工業大学) ・ 渡辺雄貴 (東京工業大学)
5. アクティブラーニングによる社会的ジレンマの学習
— 廃棄物処理ゲームを用いた授業実践を通して—
大工泰裕 (大阪大学)
6. ペア学習における学生の類型論的理解(1)
秋本慶子 (大分県立看護科学大学) ・ 吉村匠平 (大分県立看護科学大学)
7. ペア学習における学生の類型論的理解(2)
吉村匠平 (大分県立看護科学大学) ・ 秋本慶子 (大分県立看護科学大学)
8. 反転学習における学習意欲が学力に及ぼす影響の検討
森澤正之 (山梨大学) ・ 田丸恵理子 (山梨大学/富士ゼロックス株式会社)
埴 雅典 (山梨大学)
9. キャリア教育を取り入れた事前学習 AL 型授業のデザインとその考察
畔田博文 (石川工業高等専門学校)
10. 地方国立大学における学生参画型の教育・学習支援の取り組み
鈴木 学 (福島大学)
11. 基礎看護教育における演劇ワークショップの導入とその教育的意味についての検討
鮫島輝美 (京都光華女子大学) ・ 蓮 行 (大阪大学)
12. 大学生の実用的なコミュニケーション能力の涵養に向けた教育実践—ケース教材の可能性—
山口恵子 (桜美林大学) ・ 鈴木秀明 (目白大学)
13. 「フェイクニュース」問題と情報リテラシー教育
— 司書科目における「ファクトチェック」の試み—
坂本 旬 (法政大学)
14. 早稲田大学におけるオンライン統計教育教材を活用したデータリテラシー養成の取り組み
石井雄隆 (早稲田大学) ・ 堀井俊佑 (早稲田大学) ・ 須子統太 (早稲田大学)
15. ライティングセンターに寄せられた個別相談と文章作成状況の分析
— 学生はいつライティングの相談に行こうと思うのか—
多田泰紘 (関西大学) ・ 岩崎千晶 (関西大学) ・ 中澤 務 (関西大学)
16. 質問作りから始める批判的思考力育成の試み
木下謙朗 (龍谷大学)

17. 日本語の文章作成技術と現代科学の諸問題の紹介を取り入れた新しい教養教育授業の試み
下條竜夫（兵庫県立大学）
18. 問題解決に向けた個人とチームの価値観の変化の可視化
岩瀬峰代（島根大学）・吉澤 剛（大阪大学）
田原敬一郎（公益財団法人未来工学研究所）
19. 自己主導型学習を促す学習環境とアカデミック・コーチング—日本語学習における事例研究—
黒田史彦（首都大学東京）
20. 正課授業におけるコンピテンシー育成と評価に関する考察
—教員評価と学生自己評価の試行結果より—
松本高志（阿南工業高等専門学校）・川畑成之（阿南工業高等専門学校）
小松 実（阿南工業高等専門学校）・山田耕太郎（阿南工業高等専門学校）
太田健吾（阿南工業高等専門学校）・菊池弥生（阿南工業高等専門学校）
21. 大阪大学の学部新入生に対する日本語ライティングスキル大規模調査
堀 一成（大阪大学）・坂尻彰宏（大阪大学）・齊藤貴浩（大阪大学）
22. 学士課程学生チューターによるライティング支援活動とその効果の測定
佐藤賢輔（共愛学園前橋国際大学）・後藤さゆり（共愛学園前橋国際大学）
飯田健司（丸善雄松堂株式会社）・小林至道（青山学院大学）
23. 深い学びにつながる教養としてのプレゼンテーション
—「大学生が社会をよりよくするためにできること」—
中野美香（福岡工業大学）
24. 人工知能時代の外国語（英語）教育—実用技能育成から共存・共感力育成へ—
浅野享三（南山大学）
25. オーディエンスレスポンスシステムを導入した授業実践
—健康教育系講義における事例報告—
北 徹朗（武蔵野美術大学）・森 正明（中央大学）
26. 「自主ゼミ」文化の醸成に向けた支援のあり方
—立ち上げから継続的な運営に至るまでの過程と考察—
前田吉広（福山大学）
27. 初年次教育科目「まなぶる➤ときわびとⅠ」で何を得たか—学生が捉える学修の〈意味〉—
中田康夫（神戸常盤大学）・桐村豪文（神戸常盤大学）・國崎大恩（神戸常盤大学）
牛頭哲宏（神戸常盤大学）・高松邦彦（神戸常盤大学）・伴仲謙欣（神戸常盤大学）
光成研一郎（神戸常盤大学）
28. 留学生の防災意識を高める初年次教育の試み(1)
飯嶋香織（神戸山手大学）・行木 敬（神戸山手大学）・阿部 忍（神戸山手大学）
29. 初年次教育における「エンタテインメント型グループワーク」の試み
—「創造基礎」内の若手教員による学修イベントの事例—
中里智美（宝塚大学）・川上 遥（宝塚大学）・菊入百合子（宝塚大学）
石川雄仁（宝塚大学）・橋口静思（宝塚大学）・高山信吾（宝塚大学）
30. 教師の一人称視点映像を活用した教育実習事前指導の試みⅡ
平山 勉（名城大学）・後藤明史（名古屋大学）・谷口正明（名城大学）

31. Kit-build 方式概念マップを用いた 5 年間の授業実践

茅島路子（玉川大学）・宇井美代子（玉川大学）・市村美帆（目白大学）
林 雄介（広島大学）・平嶋 宗（広島大学）・小田部進一（玉川大学）
宮崎真由（玉川大学）・林 大悟（玉川大学）

32. 多文化社会を生きる力を育成する留学生との共修授業における振り返り文に見る学び

大島弥生（東京海洋大学）

33. 大学教養教育における歴史授業のデザイン—受講生の歴史学習観に基づく授業実践—

鹿住大助（島根大学）

34. 大学体育におけるルーブリック表利用による授業改善の可能性

藤林真美（摂南大学）・横山喬之（摂南大学）・河瀬泰治（摂南大学）

35. 同一科目名・複数クラス開講科目における大学教育センター支援に関する検討

—協働プロセスと学部教員へのインタビュー調査を通じて—

千葉美保子（関西大学）・森 朋子（関西大学）・岩崎千晶（関西大学）
紺田広明（関西大学）

36. 教職協働によるミニットペーパー活用法の工夫・改善

—「教育の質的改善」と「教員の業務負担の軽減」を目指して—

野田育宏（神戸常盤大学）・高藤真理（神戸常盤大学）・高松邦彦（神戸常盤大学）
中田康夫（神戸常盤大学）

37. 学びのコミュニティシステムにおける大学院生アシスタントによるピアレビュー実践

室田真男（東京工業大学）・林 直亨（東京工業大学）・小泉勇人（東京工業大学）
鈴木悠太（東京工業大学）・佐久間邦弘（東京工業大学）

38. 複数教員によるルーブリック評価のための改善点—ルーブリック導入 2 年目の挑戦—

三浦寛子（北海道科学大学）・清水久恵（北海道科学大学）・木村主幸（北海道科学大学）
黒田 聡（北海道科学大学）・山下政司（北海道科学大学）・印藤智一（北海道科学大学）
横山 徹（北海道科学大学）・菅原俊継（北海道科学大学）・相川武司（北海道科学大学）
渡邊翔太郎（北海道科学大学）

39. 高大接続における文章評価の取り組み—中高大が連携したルーブリックの開発—

岩崎公弥子（金城学院大学）・内山 潤（金城学院大学）・時岡 新（金城学院大学）
柳瀬公代（金城学院高等学校）・福田 順（金城学院中学校）

40. 学習成果の可視化と IR の現場

白石哲也（清泉女子大学）

41. 事例分析を基にしたラーニングコモンズの評価方法に関する考察

岩崎千晶（関西大学）・川面きよ（東北大学）・村上正行（京都外国語大学）

42. JUES 調査と GPA に基づく山梨大学生像の分析

埜 雅典（山梨大学）・日永龍彦（山梨大学）・豊浦正広（山梨大学）
森澤正之（山梨大学）・久保智子（学校法人河合塾）・佐藤希帆子（学校法人河合塾）

43. e ポートフォリオ利用率向上に対するシステム改善等の効果

星野聡孝（大阪府立大学）・畑野 快（大阪府立大学）・小島篤博（大阪府立大学）
青木茂樹（大阪府立大学）・宮本貴朗（大阪府立大学）

44. 大阪府立大学における学生の学びと成長の実態—e ポートフォリオと学生調査の分析を通して—

畑野 快（大阪府立大学）・上垣友香理（大阪府立大学）・高橋哲也（大阪府立大学）
星野聡孝（大阪府立大学）

45. 卒業生・就職先調査の経年比較による大学のカリキュラム評価の試み
山本裕子（三重大学）・横矢祥代（元三重大学）・守山紗弥加（三重大学）
中西良文（三重大学）
46. 歴史における学生調査の実証的考察—昭和40年代の早慶比較—
姉川恭子（早稲田大学）・Shepherd Hannah（Harvard University）
47. 大学内部質保証システムの社会的評価枠組に関する考察
宮浦 崇（九州工業大学）・林 朗弘（九州工業大学）
48. 大学生によるゲーム化した図書館利用ガイダンスのリデザインについての報告
寺島哲平（常磐大学）・名城邦孝（常磐短期大学）・関 敦央（常磐大学）
宮崎雅幸（常磐大学）・石田喜美（横浜国立大学）
49. 文章表現教育における TA の養成と活用
—大正大学共通科目「学びの基礎技法 B」の実践をとおして—
吉田俊弘（大正大学）・由井恭子（大正大学）・近藤裕子（大正大学）
春日美穂（大正大学）・君島菜菜（大正大学）・中村公子（大正大学）
高野空太（大正大学）
50. 高度授業 TA を育成するための研修プログラムの開発と評価
渡邊文枝（早稲田大学）・森田裕介（早稲田大学）
51. 大学教員の授業・研究・校務に対する価値と効力感が
FD（Faculty Development）研修への態度に及ぼす影響
向後千春（早稲田大学）・多喜 翠（CRI）
52. 「知」の創造を目指す教職協働（university development）のための
チームビルディングツールの開発
—教職員間のコミュニケーション不全を越えるために—
伴仲謙欣（神戸常盤大学）・高松邦彦（神戸常盤大学）・桐村豪文（神戸常盤大学）
野田育宏（神戸常盤大学）・光成研一郎（神戸常盤大学）・中田康夫（神戸常盤大学）
53. 医療従事者養成大学における教職協働による実践的救急蘇生法修得のための学内演習
高藤真理（神戸常盤大学）・高松邦彦（神戸常盤大学）・中田康夫（神戸常盤大学）
野田育宏（神戸常盤大学）・深川 大（神戸常盤大学）・玉村由紀（神戸常盤大学）
山崎麻由美（神戸常盤大学）・足立了平（神戸常盤大学）
54. クラウドサービスを活用した学生・教職員協働による学修活動支援システムの開発
—「主体的な学び方」を学ぶことができる研究室づくりを目指して—
鈴木 望（愛知学泉大学）・和田拓人（愛知学泉大学）・小澤しおり（愛知学泉大学）
55. 学内教育基盤としての Google Classroom の利用の検討—BYOD 化を見据えて—
有田亜希子（清泉女子大学）
56. 学習支援におけるチュータリングスキルとその育成
—理系分野のピアチュータリングを主たる事例として—
足立佳菜（東北大学）
57. 国際交流活動とピア・サポート—多様な交流を促進する学生達の学びとは—
村山かなえ（立命館大学）
58. 課題解決型学生インターンシップ—山形県川西町の実践事例から—
中村智彦（神戸国際大学）

59. 全学共通教育科目『地域の理解』授業運営改善の検証
五條小枝子（県立広島大学）・馬本 勉（県立広島大学）
60. 研究大学における高大連携事業の特徴とその効果
—京都大学における高大連携事業「学びコーディネーター」を事例として—
川内亜希子（京都大学）・山田剛史（京都大学）
61. 岡山大学の実践型社会連携教育 その1
—Community-Based Learning（CBL）の全学生展開—
前田芳男（岡山大学）・山田一隆（岡山大学）・吉川 幸（岡山大学）
62. 岡山大学の実践型社会連携教育 その2
—「実践型まちづくり論」におけるサービスマーケティングの設計と評価—
山田一隆（岡山大学）・吉川 幸（岡山大学）・前田芳男（岡山大学）
63. 岡山大学の実践型社会連携教育 その3
—トランジションへのレディネスを育む「実践型教育／学習概論」の展開—
吉川 幸（岡山大学）・前田芳男（岡山大学）・山田一隆（岡山大学）
64. 学校と地域の重複領域での状況的学習と価値の共有・共創
村山史世（麻布大学）
65. 京都大学 COC 事業（COCOLO 域）における学びの特色と成果
—「京都創造論」と「京都のまちづくり」に着目して—
渡辺雅幸（京都大学）・高見 茂（京都大学）・郭 暁博（京都大学）
66. 学生の意識、学習動向・成果からみた「地域志向」教育改革の検証
平 知宏（大阪市立大学）・深谷清之（大阪府立大学）
67. 地域で活躍する人材をどのように育成するか
—高知大学卒業生インタビュー調査 進学時・卒業時の移動に注目した分析—
小島郷子（高知大学）・塩崎俊彦（高知大学）・杉田郁代（高知大学）
木村治生（ベネッセ教育総合研究所）・松本留奈（ベネッセ教育総合研究所）
68. 地方公共団体との協働による地域における学生の活動の支援について
七田麻美子（科学コミュニケーション研究所）・岩瀬峰代（島根大学）
鹿住大助（島根大学）・菊地浩平（総合研究大学院大学）
69. 医学部における ICT 利活用支援のための選択講義
佐藤 梓（東京女子医科大学）・辻野賢治（東京女子医科大学）
村杉雅秀（東京女子医科大学）・加藤砂織（東京女子医科大学）
田部瑠子（東京女子医科大学）・上田明子（東京女子医科大学）
中谷 允（東京女子医科大学）・藤原吉希（東京女子医科大学）
宮田麻理子（東京女子医科大学）・尾崎 眞（東京女子医科大学）
70. 潜在成長モデルを用いた大学の ICT 利活用変化の分析
—技術支援体制の経年変化に与える影響要因の抽出—
稲葉利江子（津田塾大学）・高比良美詠子（立正大学）・辻 靖彦（放送大学）
田口真奈（京都大学）
71. 技術的・教育的支援体制の有無と大学規模における大学の ICT 導入効果の違い
辻 靖彦（放送大学）・稲葉利江子（津田塾大学）・高比良美詠子（立正大学）
田口真奈（京都大学）

72. ICT を活用した授業における再履修者の取組について

秋山英治（愛媛大学）・仲道雅輝（愛媛大学）・都築和宏（愛媛大学）
彦田順也（愛媛大学附属高等学校）・八木昌生（愛媛大学附属高等学校）
谷口浩一（愛媛大学附属高等学校）・松本浩司（愛媛大学附属高等学校）
光宗宏司（愛媛大学附属高等学校）・三好徹明（愛媛大学附属高等学校）
上床孝樹（愛媛大学附属高等学校）

73. 大学教育における非常勤講師の役割について

—発表者が非常勤講師として、あるいは科目運営者として携わってきた、
首都圏の各大学および山梨大学のスペイン語教育の事例から—
渡辺 暁（山梨大学）

74. 新教育学分野の提案—”Eduinformatics”—

高松邦彦（神戸常盤大学）・村上勝彦（東京大学）・桐村豪文（神戸常盤大学）
伴仲謙欣（神戸常盤大学）・野田育宏（神戸常盤大学）・光成研一郎（神戸常盤大学）
中田康夫（神戸常盤大学）

75. 大学院生向けプレ FD の開発と実践

菊地浩平（総合研究大学院大学）・七田麻美子（科学コミュニケーション研究所）
大石雅寿（総合研究大学院大学）・木村 暁（総合研究大学院大学）

76. 大学における社会情動的学習（SEL）の意義と可能性

山地弘起（大学入試センター）

77. 納得感とは何か—主体的学びを後押しする心理学的概念を探る—

橋本優花里（長崎県立大学）・小林隆昌（広島大学）・川越明日香（熊本大学）
橋本健夫（長崎国際大学）

78. 時間的展望の視点を取り入れたキャリア教育の実践

佐瀬竜一（常葉大学）

79. 多様性から学ぶキャリア理論学習—AL 授業構造化の試み—

鈴木浩子（明星大学）・高橋南海子（明星大学）・城所佑梨江（明星大学）

80. 大学生がキャリア観を協調的に発掘するゲーム教材の実践

福山佑樹（東京大学）

81. 正課と課外の両立に向けた新たな学生支援体制の構築

—Student Success Program による学生支援—

今川新悟（立命館大学）・石田明菜（立命館大学）・長谷川祥子（立命館大学）
長田 勝（立命館大学）

3月20日(火) 1日目

特別講演 11:20~12:20

百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール

「アメリカを『鏡』に日本の大学を考える」

竹内 洋 (関西大学東京センター長・京都大学名誉教授・関西大学名誉教授)

【司会】溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

学術セミナー 11:20~12:20

吉田南総合館北棟

「教育・学習データの利活用によるエビデンスベースの大学教育の未来像

—ラーニングアナリティクスの研究実践を通じて—」・・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 31】

緒方 広明 (京都大学学術情報メディアセンター教授)

【司会】山田 剛史 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

「学生の悩み相談の現場から—近年の傾向と課題—」・・・・・・・・・・・・・・ 【会場：吉田南総合館北棟 共北 25】

杉原 保史 (京都大学学生総合支援センター長)

【司会】松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

3月20日(火) 1日目

MOSTフェロー発表会 「MEGA CRISIS 巨大危機 IN CLASSROOM—脅威と闘う教員たち—」

13:30～14:30

百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

趣 旨

京都大学高等教育研究開発推進センターでは、特徴ある授業実践をおこなっている全国の大学教員が参加する MOST フェローシッププログラムを、2012年より実施してきました。

現在、第6期10名が活動中です。MOST フェローは、対面やオンラインで交流しながら、1年間かけてそれぞれの授業改善に取り組み、授業実践の中で直面する様々な教育的課題を相互共有し解決する、多様な大学教員の実践コミュニティとして活動しています。第1期から第5期までを含めた MOST フェローの相互交流の中から、新しい授業実践や研究活動が生まれています。

MOST フェローコミュニティでは、グッドプラクティスだけではなく、失敗事例や未解決の難題も共有されます。本コミュニティは、教育経験や所属する大学、専門分野が異なれど教育に情熱を傾けるといふマインドセットや価値観を共有するコミュニティであるからこそ、多様なアイデアを交換し合いながら、よりよい実践知を産みだします。

本発表では、授業や教育実践の中で実際に起こった「クライシス」を題材に、様々な困難をどうやって乗り越えていけばよいのかを考えます。

(田口真奈・酒井博之・岡本雅子・飯吉 透)

報告者

小山 真紀 (岐阜大学流域圏科学研究センター准教授・第6期 MOST フェロー)

柴田 喜幸 (産業医科大学産業医実務研修センター准教授・第5期 MOST フェロー)

見舘 好隆 (北九州市立大学キャリアセンター准教授・第5期 MOST フェロー)

司 会

酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

企画協力

第1期～第6期 MOST フェロー

3月20日(火) 1日目

シンポジウム 「人工知能に代替されない能力とその教育を考える」

14:45～17:45

百周年時計台記念館1F 百周年記念ホール

挨拶 14:45～14:55

北野 正雄 (京都大学理事・副学長)

趣旨説明 14:55～15:00

松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

講演 15:00～16:20

松原 仁 (公立ほこだて未来大学副理事長兼教授)

「人間と人工知能の共存に向けて」

河野 哲也 (立教大学文学部教授)

「対話と思考と身体性 : AI 社会を生きる力」

指定討論 16:20～16:40

北野 正雄 (京都大学理事・副学長)

休憩 (質問用紙回収) 16:40～16:55

パネルディスカッション 16:55～17:40

まとめ 17:40～17:45

趣旨 グローバル化の拡がりや少子高齢化・人口減少、雇用の流動化など、日本の大学を取り巻く国内外の情勢は大きく変化してきており、それに伴って大学教育改革・改善の方向性、姿や形も多様化しつつあります。とりわけ、ここ数年のめざましい情報コミュニケーション技術 (ICT) の進化と人工知能の汎用化は、教育や労働の世界に大きな変化をもたらすと予測されています。

そこで、今回のシンポジウムでは、「人工知能に代替されない能力とその教育を考える」を全体シンポジウムのテーマとし、未来の創り手となる学生たちに必要とされる能力とはどのようなものなのか、教育や学習はどう姿を変えるのか、私たちはこの AI 時代にどう向き合うべきなのか、を考えてみたいと思います。

3月21日(水) 2日目

個人研究口頭発表 10:00~11:50

吉田南総合館北棟

●<部会 14> 座長：大津史子 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 25】

「授業デザイン評価スケール(教養教育用)」の開発—質の高い教養教育の授業提供を目指して—

中山登志子(千葉大学)・舟島なをみ(新潟県立看護大学)・小澤弘明(千葉大学)

白川優治(千葉大学)・姉川雄大(千葉大学)・藤本茂雄(千葉大学)

質的評価・量的評価という分類の双方によるパフォーマンス評価への視座

—信頼性・妥当性の議論を中心に—

斎藤有吾(京都大学)

メディア情報リテラシーのパフォーマンス評価の開発

飯尾 健(京都大学)・香西佳美(京都大学)・溝口 侑(京都大学)

大森俊典(京都大学)・渡邊智也(京都大学)・平山朋子(藍野大学)

小山理子(京都大学)・松下佳代(京都大学)

PBL形式「薬物治療学」におけるパフォーマンス評価の開発

大津史子(名城大学)・灘井雅行(名城大学)・長谷川洋一(名城大学)

永松 正(名城大学)

●<部会 15> 座長：梅田千砂子 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 26】

追手門学院大学のキャリア教育の体系化と

キャリアアクション・コモンズを始めとするキャリアサポート

大串恵太(追手門学院大学)・小畑力人(追手門学院大学)

学生主体のビデオ教材制作を通じた実践型キャリア教育—航空物流産業を事例に—

鈴木美伸(法政大学)

就職未内々定の大学生に対する就職支援

—新たな一歩を踏み出すためのプログラムの効果検証—

山本美奈子(山形大学)・松坂暢浩(山形大学)

日本で就職を希望する留学生が有するコンピテンシー

—コンピテンシーが見られた場面と行動の分析—

梅田千砂子(立命館アジア太平洋大学)・渡辺若菜(立命館アジア太平洋大学)

●<部会 16> 座長：榊原暢久 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 33】

理工系分野におけるFDプログラム開発(ver3.0)の成果と課題

—理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン—

吉田 博(徳島大学)・榊原暢久(芝浦工業大学)

FD研修における事前学習促進要因の分析—「インタラクティブ・ティーチング」研修を例に—

中村長史(東京大学)・栗田佳代子(東京大学)

芝浦工業大学におけるFD支援プログラム

「授業外学習を促すシラバスの書き方WS」に関する実践報告

奥田宏志(芝浦工業大学)・榊原暢久(芝浦工業大学)・

ホートン広瀬恵美子(芝浦工業大学)

芝浦工業大学における「理工学教育共同利用拠点」実施プログラムの現状と課題

榊原暢久(芝浦工業大学)・ホートン広瀬恵美子(芝浦工業大学)

奥田宏志(芝浦工業大学)

●<部会 17> 座長：林 透 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 27】
「やらせる教育」から「やる気を引き出す教育へ」
—会計学教育における地域連携によるアクティブ・ラーニングの実践—
上野雄史（静岡県立大学）

三重大学教養教育アクティブラーニング型授業における成績評価方法の検証
太城康良（三重大学）・長濱文与（三重大学）・下村智子（三重大学）
和田正法（三重大学）・綾野誠紀（三重大学）

リーダーシップを含む汎用的能力の育成を目標とした授業デザインの改善
長谷川元洋（金城学院大学）

教員・職員・研究者協働による AI 型授業改善に関する一考察
—「山口と世界」での実践事例を通して—
林 透（山口大学）・長澤多代（三重大学）・日高友江（山口大学）

●<部会 18> 座長：岩崎保道 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 28】
学生像調査に基づく 3 つのポリシーの策定
—学生の「現実」と教育の「理想」をつなぐために—
君島菜菜（大正大学）・日下田岳史（大正大学）・山内 洋（大正大学）
吉田俊弘（大正大学）

『教育の内部質保証に関するガイドライン』に基づく
全学初年次教育プログラムの評価体制の検討
上田勇仁（徳島大学）・吉田 博（徳島大学）・川野卓二（徳島大学）

ディプロマサプリメントを使った学習成果の可視化と主体的な学びへの取り組み
石村雄亮（東京都市大学）

国立大学及び私立大学における IR 組織の形成
岩崎保道（高知大学）・蔭久孝政（琉球大学）・白石哲也（清泉女子大学）
橋本智也（四天王寺大学）

●<部会 19> 座長：陣内雄次 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 31】
ディプロマ・ポリシーと学長・学部長訓示に見る教育の質保証—地域に着目した分析—
小柏香穂理（宇都宮大学）・杉原 亨（関東学院大学）・金川久美子（九州大学）
北中佑樹（大阪電気通信大学）・野口和久（九州大学）・相原総一郎（芝浦工業大学）
森 雅生（東京工業大学）・廣川佐千男（九州大学）

PASS (Peer Assessment Support Service) の成果・課題・可能性
—FD における学生の主体性形成—
森川由美（創価大学）・富岡比呂子（創価大学）

佐賀大学におけるティーチング・ポートフォリオの活用
山内一祥（佐賀大学）・皆本晃弥（佐賀大学）

ポートフォリオの効用—社会に開かれた教育プログラムの事例から—
陣内雄次（宇都宮大学）

●<部会 20> 座長：矢野浩二郎 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3A】
他者と協力し、創造的で、自らのパフォーマンスを発揮するプレイフルな学びの試行
—21 世紀型スキル育成授業・ジェネリックスキルトレーニングⅡの取り組み—
高橋博美（神戸学院大学）・砂連尾 理（神戸学院大学）・二口大学（神戸学院大学）
森井 淳（神戸学院大学）

理系学生のための教養教育としての科学リテラシーと社会リテラシー

—化学系科目を中心に—

内山弘美（大学非常勤講師）・久保田真理（慶應義塾大学）・立川 明（高知大学）
西村秀雄（金沢工業大学）

「語らざるを得ない・耳を傾けざるを得ない」対面会話の試案

横山真衣（兵庫県立大学）・宮本節子（兵庫県立大学）

一分間スピーチによる主体性のあるコミュニケーション能力の涵養について

矢野浩二郎（大阪工業大学）

●<部会 21>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：澤田忠幸・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 3B】

大学における新聞を活用した授業方法について

佐藤龍子（龍谷大学）・吉島一彦（元読売新聞／大阪女学院大学）

授業内学習行動の想起に重点をおいた「振り返りシート」の構築と実践結果

石井雅章（神田外語大学）

学部初年次の汎用的技能と動機づけ、学習方略との関連性

澤田忠幸（石川県立大学）・小椋賢治（石川県立大学）

●<部会 22>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：樋口勝一・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 34】

顔検出技術による受講者の学習意欲・興味の可視化に関する試み

—大人数授業の質向上と効果的なFD活動の探求—

奈良堂史（関東学院大学）・杉原 亨（関東学院大学）・小山巖也（関東学院大学）
林 昌宏（富士通株式会社）・木村剛美（富士通株式会社）
藤本敏浩（富士通株式会社）・宮田和幸（富士通株式会社）

学生と卒業生の相互関与の仕組み—米国の大学における Student Involvement へのステップ—

原 裕美（神戸大学）

大学への外部機関からの調査依頼に関する実態把握の試み

—コモンデータセットアクションプラン提案を目指して—

荒木俊博（淑徳大学）・上島洋佑（金沢大学）

FDer 参観による文科系大学初年次基礎的数学授業の改善提案

樋口勝一（追手門学院大学）・田上正範（追手門学院大学）

●<部会 23>・・・・・・・・・・・・・・・・・・座長：阿部直也・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 35】

成人用メタ認知尺度に関する検討

丹羽量久（長崎大学）・山地弘起（大学入試センター）・
Bernick Peter John（長崎大学）

教養科目に関する質問紙調査の分析—学生の興味・関心—

堀之内敏恵（岩手県立大学）

共通教育の拡張性と専門分野の接点—体育科教育による総合性の特徴を踏まえて—

塩川満久（県立広島大学）・沖原 謙（広島大学）・菅 輝（広島国際大学）・
大塚道太（安田女子大学）・出口達也（広島大学）

海外大学との連携教育プログラムの設計と実施

—ジョージア工科大学と東京工業大学の連携プログラムを事例として—

阿部直也（東京工業大学）・水本哲弥（東京工業大学）・
Brian Woodall（ジョージア工科大学）・

●<部会 24> 座長：田中洋一 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 37】
追手門学院大学の自校教育―「追手門 UI 論」が新入生にもたらした変化ついて―
梅村 修（追手門学院大学）

実行可能性を考慮したデジタル・リテラシー評価の開発
長沼祥太郎（京都大学）・杉山芳生（京都大学）・澁川幸加（京都大学）
浅川裕子（京都大学）・Jeong Hanmo（京都大学）・土岐智賀子（立命館大学）
山田 勉（京都大学）・松下佳代（京都大学）

宇宙を結節点とした越境的学習を促す大学授業の構想
―京都大学全学共通科目「宇宙総合学」履修者へのインタビュー調査―
河合直樹（京都大学）・中宮賢樹（京都大学）・磯部洋明（京都大学）
土井隆雄（京都大学）・柴田一成（京都大学）

主体的・対話的で深い学びのための問いと関係性の設計
田中洋一（仁愛女子短期大学）・山川 修（福井県立大学）

●<部会 25> 座長：小川 勤 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 38】
ホワイトボード・ミーティング®を活用したアクティブラーニング型の授業実践
大場浩正（上越教育大学）・ちょんせいこ（株式会社ひとまち）

大阪大学文学部における正課外言語学習活動の取り組み
―学生主体によるタンデム学習プロジェクト（Tandem Learning Project）―
丁 愛美（大阪大学）・林 貴哉（大阪大学）・王 静斎（大阪大学）
劉 姝（大阪大学）・中尾未来（大阪大学）・謝 佩芳（大阪大学）
李 眩珠（大阪大学）

口頭発表練習における LTD 基盤型授業モデルの導入
―理解力・論理的思考力・コミュニケーション能力の習得のために―
阿部美恵子（関西学院大学）

コミュニケーションを苦手とする学生への対応について
―アクティブ・ラーニング型授業や移行支援での対応について―
小川 勤（山口大学）・岡田菜穂子（山口大学）

●<部会 26> 座長：勝浦信幸 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3C】
道の駅との連携による PBL 科目の実践と課題―観光情報発信機能の強化に向けて―
山口泰史（東北公益文科大学）

学生が評価の主体者となるルーブリックの実践
―グループ活動における個人の学びを評価する手法として―
山下 香（流通科学大学）

PBL におけるメンバーの強み及び目標の共有と成長の可視化への授業デザイン
―SERBIA×英和 PROJECT の課題と改善―
町田小織（東洋英和女学院大学）

地域人材養成に向けたゼミでの地域連携教育実践（PBL）―つるがしまルシェを中心に―
勝浦信幸（城西大学）

●<部会 27> 座長：三浦和美 . . 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3D】
大学における日本語教師養成課程と現場を結ぶ「日本語教員業務リスト」の試作
尾沼玄也（神田外語大学）・加藤林太郎（国際医療福祉大学）

教職実践演習受講生を対象とした教職課程に関する意識調査

梅田崇広（広島大学）・井上 快（広島大学）・周 心慧（広島大学）
早川知宏（広島大学）・深見奨平（広島大学）・宮本勇一（広島大学）
淀澤真帆（広島大学）・李 憶南（広島大学）

教職志望学生の学業と職業の接続に関する探索的検討

野中陽一朗（高知大学）

教員養成における卒後支援としての「学びのコミュニティ」構築に関する実践的研究(2)

三浦和美（東北福祉大学）

3月21日(水) 2日目

参加者企画セッション 13:20～15:50

吉田南総合館北棟

教育における対話の役割とその可能性・・・・・・・・・・・・・・・・・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 3C】

企画：山川 修（福井県立大学）
話題提供：加藤素明（大阪観光大学）
司会：筒井洋一（京都工芸繊維大学）

ケースメソッド型SD研修体験ワークショップを踏まえた参加者と企画者による批判的検討
—自律的な大学組織開発を実現するためのSDリーダー養成を目指して—

・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 25】

企画：吉永契一郎（金沢大学）
ファシリテーター：上島洋佑（金沢大学）
松村典彦（金沢大学）
セッション総括：上島洋佑（金沢大学）
全体進行：吉永契一郎（金沢大学）

全学型キャリア教育科目の実践的課題と展望

—教養教育におけるカリキュラム・マネジメントと実践者を取り巻く課題の検討—

・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 33】

企画：長田尚子（立命館大学）
勝又あずさ（関西学院大学）
話題提供：勝又あずさ（関西学院大学）
中川洋子（立命館大学）
川崎友嗣（関西大学）
指定討論：杉谷祐美子（青山学院大学）
司会：長田尚子（立命館大学）

日本における大学版「知の理論」の可能性・・・・・・・・・・・・・・・・・・【会場：吉田南総合館北棟 共北 26】

企画：松下佳代（京都大学）
話題提供：松下佳代（京都大学）
田原 誠（岡山大学）
渡邊雅子（名古屋大学）
坂本尚志（京都薬科大学）
司会：松下佳代（京都大学）

京都発！ 学生と地域がともに学び合う「コミュニティ・ベースド・ラーニング」の実現に向けて
.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 3B】

企画：村田和代（龍谷大学）
久保友美（龍谷大学）
白石克孝（龍谷大学）
話題提供：村田和代（龍谷大学）
杉岡秀紀（福知山公立大学）
井上芳恵（龍谷大学）
井上 翔（一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構）
石田浩基（京都文教大学）
指定討論：定松 功（一般財団法人地域公共人材開発機構）
久保友美（龍谷大学）
司 会：白石克孝（龍谷大学）

「主体的学習者育成プログラム」の開発と導入—高等学校への導入事例を中心に—
.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 27】

企画：松岡 俊（産業能率大学）
話題提供：杉田一真（産業能率大学）
齊藤弘道（産業能率大学）
指定討論：林 功樹（産業能率大学）
渡邊道子（産業能率大学）
司 会：杉田一真（産業能率大学）

持続可能な地域・世界をつくる PBL・地域連携教育.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 28】

企画：村松陸雄（武蔵野大学）
話題提供：村松陸雄（武蔵野大学）
石井雅章（神田外語大学）
勝浦信幸（城西大学）
陣内雄次（宇都宮大学）
滝口直樹（合同会社環境活動支援工房）
田中 優（大阪国際大学）
長岡素彦（一般社団法人地域連携プラットフォーム）
畑 正夫（兵庫県立大学）
埴 雅典（山梨大学）
早川 公（仁愛大学）
村山史世（麻布大学）
吉本理沙（愛知大学）

大学教育におけるメタ認知の捉え方—質問紙による測定の可能性と限界—
.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 31】

企画：山地弘起（大学入試センター）
話題提供：山地弘起（大学入試センター）
丹羽量久（長崎大学）
金西計英（徳島大学）
指定討論：三宮真智子（大阪大学）
司 会：山地弘起（大学入試センター）

これからの知識情報化社会を生き抜くための数学とは

—社会で求められる数学の力を考える— 【会場：吉田南総合館北棟 共北 3A】

- 企画：森 園子（拓殖大学）
- 話題提供：二宮智子（大阪商業大学）
田浦 元（拓殖大学）
岡林 徹（千葉科学大学）
堀口智之（和から株式会社）
- 指定討論：中村竜哉（拓殖大学）
- 司 会：船倉武夫（千葉科学大学）

対話的事例シナリオを中心とした教員養成型 PBL 教育の展開と評価方法の検討

. 【会場：吉田南総合館北棟 共北 34】

- 企画：山田康彦（三重大学）
- 話題提供：中西康雅（三重大学）
前原裕樹（愛知大学）
守山紗弥加（三重大学）
- 指定討論：赤木和重（神戸大学）
- 司 会：山田康彦（三重大学）

学修成果の多角的・継続的な可視化とその活用—育成と一体化した評価の試み—

. 【会場：吉田南総合館北棟 共北 37】

- 企画：岡田佐織（ベネッセ教育総合研究所）
- 話題提供：岡田佐織（ベネッセ教育総合研究所）
塩崎俊彦（高知大学）
志村知美（追手門学院大学）
杉原 亨（関東学院大学）
奈良堂史（関東学院大学）
松本留奈（ベネッセ教育総合研究所）
木村治生（ベネッセ教育総合研究所）
友滝 歩（ベネッセ i-キャリア）
- 指定討論：鳥居朋子（立命館大学）

アクティブラーニング型授業の新定番「タクナルメソッド」体験学習ワークショップ

—ALのカギを握る「チームビルディング」「ディスカッションの活性化」を
促進するメソッド体験およびメソッド活用の有効性—

. 【会場：吉田南総合館北棟 共北 35】

- 企画：平田史昭（株式会社リアセック キャリア総合研究所）
小寺良二（株式会社リアセック キャリア総合研究所）
- 話題提供：佐藤 崇（東洋大学）
- 司 会：平田史昭（株式会社リアセック キャリア総合研究所）

大学における JSL 学生の日本語教育—高大連携から見えてきた課題と展望—

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 36】

- 企 画：木山三佳（明海大学）
- 話題提供：大池公紀（明海大学）
青島絵里（明海大学）
山岸宏明（明海大学）
範 弘宇（明海大学）
高柳奈月（明海大学）
- 指定討論：大池公紀（明海大学）
青島絵里（明海大学）
山岸宏明（明海大学）
- 司 会：木山三佳（明海大学）

3年間の調査から見えてきたアクティブラーニング型授業の学習効果

.....【会場：吉田南総合館北棟 共北 38】

- 企 画：本田周二（大妻女子大学）
溝上慎一（京都大学）
- 話題提供：紺田広明（関西大学）
本田周二（大妻女子大学）
山田嘉徳（大阪産業大学）
- 指定討論：楠見 孝（京都大学）